

部活動のあり方について検討する会議の設置に関する請願

1 要 旨

部活動について有識者による会議を設置し、福井県における望ましい部活動のあり方について十分に検討するよう求める。

2 理 由

部活動は、個人の技能を伸ばすだけでなく、主体性や社会性を育てる学びの場でもある。一方で、少子化や教職員の働き方の問題から、従前同様の体制では維持が難しくなっている。部活動のあり方については、子供、保護者、教職員からさまざまな声が上がっており、その方向性も多種多様である。3月にスポーツ庁は「運動部活動に関するガイドライン」を発出し、文化庁は文化部活動について検討を行うとしている。国のガイドラインを受けて多くの都府県は部活動のあり方についての方針を策定しているが、福井県は策定していない。

中学校において子供にも教職員にも大きな影響のある部活動について、福井県でも方針を策定する必要がある。そのためには、さまざまな立場の有識者による十分な議論が求められる。

3 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 室田浩和

4 紹 介 議 員

斉藤新緑、糀谷好晃、西本恵一、中井玲子、細川かをり、井ノ部航太

5 受 理 年 月 日

平成30年11月7日